

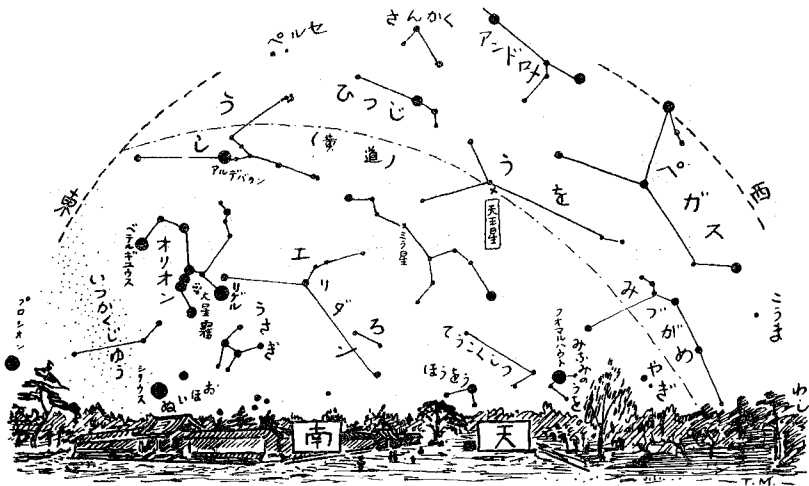
日	赤 經	赤 緯	視直径	星 座
7	16時50分44秒	南22度30分		へびつかひ
17	17時34分46秒	南23度19分		へびつかひ
27	18時19分 9秒	南23度23分		い て

(6)

太陽は月始め人馬宮に在るが、二十三日より麻羯宮に侵入する。此の23日は即ち、太陽の黄經が270度となる日であつて、換言すれば、冬至の日である太陽が此の冬至點を通過するのは此の日の、午前四時半である。そして、此の日の太陽赤緯は、最も南に偏して、南二十三度二十七分餘となる。従つて日中の長さは最も短かく、日の出が七時二分、日の入りが四時五十分、即晝間は九時間四十八分、夜間は十四時間十二分となる。此の二十三日の太陽の距離は、地球から一億四千七百萬軒ある。

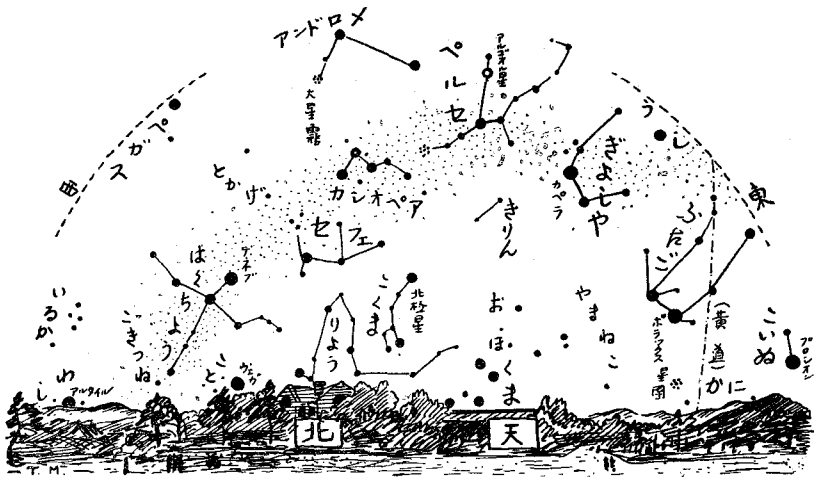
月				
月の相	時 刻	視直径	星 座	
下 弦	3日午前 1時50分	32分 3秒	し	し
新 月	9日午後 7時16分	32分21秒	へびつかひ	を
上 弦	17日午前 7時43分	29分42秒	う	を
満 月	25日午前 8時24分	30分58秒	ふ た	ご
近地點通過	7日午前 3時 6分	32分47秒	を と	め
遠地點通過	18日午後 8時42分	29分36秒	う	を
降交點通過	4日午後 5時36分	32分33秒	を と	め
昇交點通過	17日午後10時54分	29分38秒	う	を
降交點通過	31日午後 6時 0分	32分16秒	を と	め

月が最も地球に近寄る日たる7日朝に於ける、地球——月間の距離は三十六萬五千軒であり、最も遠去かる18日夜の距離は、四十萬三千軒となる。満月の夜の距離は、三十八萬五千軒であつて、地球半径の六十倍と少しに相當する。此の距離を光は僅か一秒餘りで通過してつふ。



太陽系

今月は左して面白い現象もないが、水星の東方離角が最大となる三日には是非見られるがよい。先づ一日夕に月と木星とが合となり、次いで、二日夜には海王星と月と合となる。飛んで、八日夜には金星が遠日點を通過する。十日には木星が留となり、同日夕には火星と月と合となる。翌十一日の朝には水星と月とが合となり、同日中に金星と月と合となる。十二日の朝に水星が停留となり續いて土星と月とが合となる。十五日朝水星が昇交點を通過し翌十六日には同じく水星が火星と合となる。此の時水星は火星の北一度二十分の所にある。十九日朝に天王星と月と合となり、同日夕には水星が近日點を通過する。それと殆んど同時に金星と土星とが合となり金星が南一度三十二分の所にある。二十一日夕に水星が内合、二十三日は冬至、二十六日朝天王星が停留となり、二十八日夜木星は再び月と合、三十日朝も海王星が二度目の合と月となす。



恒 星 界

北風が身にしみ渡り、道行く下駄の音も天に響ひて、深まり行く空の色に冬の厳肅さを感じる。秋の星座が静かに西に歩を移すと、「オリオン」の三つ星が宵の東天に現はれ始め、冬の星座が厳かに遅速ない歩を進めて續々と現はれて来る。天の川の光は弱い、此の流域にはシリウス、リゲル、プロシオン、ベテルギウス、ボルクス、カペラ、デネル等の一等星が、青赤黄の色とりどりに隣ひて、其等の合間々には、華やかなプレアデスやヒアデスが、時を笑顔に輝やく、中にはアルゴールの如き愛嬌者も混つて、此の頃の夕べの空は甚だ賑やかである。

此れに反して遊星界では、只僅かに、その光度六等の天王星が、淋しく「う」座に位置するのみで甚だ物足りなさを感じる。併し西天に宵の間暫らく黄道光が見え始めるのは此の頃からである。一度も見た事のない方は一度は注意すべきであらう。

遊 星 界

水 星 宵の星として太陽没後の西天に零等星の光度で輝やく、位置は月始めにいて γ 座の西端にあるが、十二日まで順行して、此の日 ϵ 星附近で留となり以後逆行して二十一日には太陽と内合となり、月末には λ へびつかひ γ 星附近まで動く。三日には東方最大離角二十一度となり、観望には最もよい、殊に宵であるから都合がよい。此の三日の視直径は六秒半であつて、その時の型は八日月位ひに缺けてゐる。光度は零等である。

金 星 宵の星であつて、大體に於いて月始めは水星と並んで、水星より東北に當つてゐる。次第に順行して月末には λ やぎ γ 座 ψ 星附近まで移る。月始めは太陽の光芒に近いが、月末になる程観望には都合がよい。月末の視直径は約十二秒、光度は負三等半である。尙型は十日月位ひに缺けてゐる。

火 星 宵の星ではあるけれども次第に太陽の光芒に近付くため今月以後は観望は出来ない。

木 星 夜半後の出現である。大體に於いて λ しし γ 座 ϕ 星附近にあり、月始めは順行してゐるが十日に留となり、以後は次第に逆行に移り月末に至る。光度は約負二等であり、視直径は約四十秒となり次第に増加しつつある。距離は地球より約七億キロメートルの彼方にある。

土 星 宵の星であるが、月末になる程太陽の光芒中に近寄るので、月始めでないとよく見られない。月始めの光度は正約一等であり視直径は約七秒、輪の長径は三十五秒であり短径は十四秒で、地球から見た輪の傾きは約二十三度半位ひである。位置は λ いて γ 座で、丁度天の川を東に外れた附近を徐々に順行中である。

天 王 星 位置は λ うを γ 座七十七星の近くで、光度は約六等、視直径は約三秒程であり月始め逆行してゐるが、二十六日から順行に移る。

海 王 星 曉の星で位置は λ しし γ 座 ρ 星附近。光度約八等。視直径約二秒。

冥 王 星 λ ふたご γ 座にあるも小型望遠鏡では到底見る事は出来ない。